

### 1. 県内初の快挙 “環境大臣表彰” 受賞（副会長 原田 賢治 記）

平成14年の「みどりの日」に当り、“里山ビオトープ二俣瀬をつくる会”が「いきもの環境づくり・みどり部門」で環境大臣表彰の栄に浴することとなりました。この良報は、会員にとって大きな喜びと共に、これからの管理運営に励みになったことと思います。まずは、「おめでとう」「ご苦労さん」と声を大にして叫びたい気持ちでいっぱいです。会が発足して1年6ヶ月余り、会員相互の協力と汗の結晶が今日の喜びに連なったと思います。また、これまで各方面から、ご指導、ご協力を戴きました。ありがとうございました。私達会員は、これからも多くの皆様に親しまれる広場づくりを目指して「自然環境教育の場」「市民の憩いの場」「二俣瀬をアピールする場」という三つの目標に更に近づけるよう会員相互の連携を深めて、がんばって活動しましょう。

### 2. 活動報告（事務局 原田 満洲夫記4/22以降）

3月23日（土）明日の竣工式に向けて、紅白やヨモギ餅などの餅つき、祝賀会の会場作り、などいろんな準備をしました。

3月24日（日）里山ビオトープ二俣瀬の竣工式が行われました。神主さんより竣工式が行われ、その後、来賓等参加者が昭和山遊ロード二俣瀬を歩いて見学されました。みなさん「いい所ですね」「手頃なハイキングコースとして最適」など、かなりの評価をいただきました。

4月8日（月）ビデオ（CD）製作会議が、山大で行われました。初めて作るものなので、皆さん大変です。

4月11日（木）ビデオ（CD）製作会議が、山大の関根先生の部屋で行われました。今日の作業は、潮村さんの作られた文章にそって画像を選択していきました。作業は、夜10時までつづきました。（潮村さん大変お疲れ様でした）まだまだつづきます・・・

4月14日（日）宇部自然保護協会の第6回厚東川自然ウォッチング（里山ビオトープ二俣瀬をつくる会共催）が、遊歩道とビオトープで行われました。途中、野草や新芽を採取して市民センターで天ぷらにして皆でいただきました。春の味は、最高でした。

4月22日（月）二俣瀬市民センターで、総会が行われました。短い時間の中、会則、連絡体制、年間行事等いろいろ話し合いました。

4月26日（金）山大で山口県の豊魚祭（6月1日～）用のパネル作りの会議がありました。

4月27日（土）会員の北村さんが持ってこられた、サギ草の球根3000個を、湿地ゾーンに植え付ける作業をしました。

4月29日（月）平成14年「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受けました。「みどりの日」記念行事の中で、自然環境の保全に関して顕著な功績があった者に対しその功績をたたえるため、自然環境功労者として環境大臣表彰を行うこととしているそうです。

5月8日（水）山大にてパネル（5枚）作りの会議もとうとう最終回です、あとは出来上がりを待つだけです。

5月11日（土）今日の作業は、草刈でした。

### 3. 今後の予定（事務局 原田 満洲夫 記）

5月23日（木）中国、四国農政局ご一行見学（応対 今井会長）

6月1日（土）草刈り

6月1日（土）17:00 市民センターから有志にて柱谷の見学へ出発（4月の総会で説明済み）

6月13日（木）琴芝地区ご一行見学

6月15日（土）田植え

6月16日（土）福岡甘木市 ご一行見学（応対 原田 他）

6月26日（水）広島より見学

7月6日（土）遊ロード草刈り

7月20日（土）維持管理

### 4. ビオトープ関連（ビオトープで観察される動植物）

“二俣瀬のビオトープ周辺で観察される鳥”（宇部自然保護協会 末村 和行さん 記）

2001年10月より2002年4月までに、ビオトープ周辺で確認された鳥は、下記の63種です。

ペリカン目：カワウ

コウノトリ目：ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ

カモ目：オシドリ、カルガモ、コガモ、ミコアイサ

タカ目：ミサゴ、トビ、ハイタカ、ノスリ、ハヤブサ、チョウゲンボウ

キジ目：ヤマドリ、コジュケイ

ツル目：ヒクイナ

チドリ目：コチドリ、イカルチドリ、イソシギ、タシギ

ハト目：キジバト

ブッポウソウ目：カワセミ

キツツキ目：アオゲラ、コゲラ

スズメ目：ヒバリ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ヒレンジャク、ミソサザイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、キクイタダキ、セッカ、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ホオアカ、ミヤマホオジロ、アオジ、オオジュリン、アトリ、カワラヒワ、マヒワ、イカル、シメ、ニューナイスズメ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

## 5. ピオトープ関連 (ピオトープ近辺の案内)

“二侯瀬”由来 (車地 吉富 壮介 記)

昔むかしその昔、大けな大けな大男がおったげな。どこから来たやら、どこへ住んでおったやら、誰も知らん。その大男、あるとき鷹ノ子山から「ドッコイショ」と、霜降山へひとふん張り、そこで小便をはじめた。滝の如き小便で、できた滝穴が秋芳洞、流れたところに厚東川が出た...と。今でも鷹ノ子山の八丈岩に、その足跡が残っちゃう...ちゅう話し。そこで声がした「川の水に泡が浮いたは、その為か」と。つけたりがある。ドッコイショのとき、天秤(てんびん)で石を一荷担いでおった。その天秤が折れて籠が飛び、落ちた所が吉部大岩郷と万倉大岩郷じゃ...と。大岩郷はどうでもええ、その厚東川に沿うて、わが二侯瀬が生まれたそ。二侯瀬があつて村が出来たんじゃない、村が集まって“二侯瀬”になった。(明治四年、廃藩置県が行なわれ、ばらばらにあった小さい村が急に寄ったり離れたたり、四論五論の末明治十九年、車地、木田、山中、瓜生野、善和の五ヶ村が一つになり、二侯瀬の原形ができた。名も「協正組」とつけられた。明治二十一年市町村制が公布され、県は「協正村」を奨めたが地元が嫌い「二侯瀬村」がええ！それでは...と二侯瀬に決まった。荒瀬が加わったのは大正七年)とある。以上( )の中は木田・児玉一雄著“郷土二侯瀬”に依る。ドッコイショで二侯瀬になった厚東川も、昭和47年、県の「中島除去工事」で中島が無くなり、一つ瀬になってしまった。虎は死して皮を残し、中島は死して名を残す。天は人の上に人をのせて人を造る...よう言うたもので。

## 6. 会員の声

“今回はなし” ( ? 記)

今回は投稿がありませんでしたので、載せていません。みなさんの投稿をお待ちしています。

## 7. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

メダカ、おたまじゃくし、昔の思い出にひたっています。これから、小鳥たちの楽園を作ってください。(3月24日田中良征)  
水田を利用した池に魚(コイ、フナなど)を放流したらよいと思います。自然がいっぱい素てきな所です。(3月26日(火) SAITO)

水車が大きくてすごかったです。(3月26日(火) SAYURI)

メダカとおたまじゃくしがたくさんいたのでびっくりしました。(3月30日 みやじ ゆうき)

桜 満開のこの日、以前から気になっていたののでやってきました。入口がわからず迷いました。秋吉建設さんの所に大きく目立つ看板があると 知人にも紹介しやすいです。結構 長さがありますし、すてきな小鳥の声も聞き入っていたので、ベンチが要所要所に欲しいと思いました。少しずつ充実していくことを楽しみにしています。都会で暮らす子供たちに是非見せたいと思いました。(3月31日 著者不明)

きょう、ピオトープにきて水車が大きかったからびっくりしたよ。ちょっとあるいたら、こんどは水があったよ。その中をのぞいてみるとおたまじゃくしがいたよ。おたまじゃくしをいっぱいとったよ。(3月31日(日) 藤本 彩加)

ウワサをきいてきました。狭い道を車で入ってしまい、駐車場がなかったので ちょっと困りました。子供の頃遊んだ田んぼや小川をなつかしく思い出しました。初めは すべり台は？ブランコは？と言った子供も楽しそうに遊んでいます。(4月2日(火) 宇部市厚南区 ふじい)

6年1人5年5人すべて男で来ました。最初 家でゲームしてた方がずーとまし...と言ってた彼ら、もうすでに はまってます。また今度いつ来る？春休み中にもう一度来たいねって...。今日は天気もよく 4月初旬とは 思えません。ここには時計もないし トイレも無いし... 何も無いところがいいです!!(昔はこんなに遊んでたのに...ねっ。)(4月2日(火) 宇部市 浜田 AS 浅井)

我、故郷に、ピオトープができた...とは聞いていましたが、今日始めて来ちゃいました。やはり、二侯瀬は最高です！3人の娘たちにも、よく二侯瀬小の校歌を歌ってあげています。最近では、替え歌も作り みんなで歌っています。又、夏に来たいと思います。ピオトープ作りに参加された方々ほんとうにご苦労様でした。これからも 頑張ってください。(4月3日(木) PM15:10 晴 とっても暖かな日です。 二侯瀬を愛する中尾です。(現在は西岐波在住))

引きつづき 5年生4人組またまた来ました。犬1匹も... 石をおこすと何かしら 生き物が... おもしろいし しまどじょうもいた 今日もだれもいませんね。(4月5日(金) 浜田 浅井)

風が少し強かったけど、とても天気の良いお散歩日和でした。4月中旬というのに、今年は暖かいせいか色々な生き物がいました。子供が一番喜んだ(?)のは 大量の水すましでした。これからも季節が変わるごとに訪れたいと思います。(4月11日(木) 寿町 浜田)

昔(昭和の初期、大正のころ)の里の風景を思い出されますね。こんどはかわいい孫たちを連れてきます。路(みち)のそば

に小川があり とても気持ちがよい。(4月13日(土)晴 としよりの老夫婦から)

今日で3回目 ビオトープ 昭和山の散策は幼い日の思い出と重なり有意義でした。(4月14日(日) 宇部自然保護協会 杉 直人)

小野湖にバイクで行く途中に偶然フラッと中に入り、遊歩道を見つけ、気ままに入りました。宇部の市街地から近くにこんな田んぼ?畑?が。あまり目立たない今の方がいいのかも。人がいないのも雰囲気があっていいのかなあ。(4月25日 宇部市 草江 JOHN)

(4月25日 厚南区東和苑 田中直樹 一同見学)

ビオトープのつくる会の方の努力に脱ボウ。次にくる時はもっといろいろなものが姿を変えているかと思うと楽しみです。すがすがしい気持ちです。久しぶりにトンボ アメンボウをみました。(4月27日 小羽山 福永)

パンフを見てビオトープ二俣瀬をたずねてきました。トンボ、カエル、メダカ、たにしなどいて、田舎道に感動。中1、小4、小1の子供達ははしりまわっています。(4月28日 厚南区長沢 伊藤)

弟とお母さんと来ました。山にも登りました。木がいっぱいあった。水車の水が気持ちよかったです。いろいろな植物があっけおもしろかったです。(4月29日(月) 宇部市西岐波区 重永 有紀子)

あづまやが気に入りました。(4月29日(月) しげなが 晃一)

すいしゃがすごく大きかったです。あと、社会科でやくにたちそうです。橋をわたるのがたのしかったです。(4月29日(月) 4年 河村 南)

昭和山より遊歩道を歩いて楽しい山を見学して自然を思いっきり楽しんだ1日でした。(5月2日(木)晴 二俣瀬民農協一同)

お茶まつりの帰りに新聞でみかけた里山ビオトープの話を読み出し立ち寄ってみました。とても気持ちのいい所で、ワラビ(少しです。)取りながら 歩いてみました。少し困った事は、どこかに駐車場があったらよいと思いました。又、夏にも訪れてみようと思います。(5月2日晴 小野田より 3名で)

豊橋から、小野田のおじいちゃん家へ来たので、自然を体験したくて、遊びに来ました。せりがたくさん!!子供たちは、草で戦いをしました。とても 楽しい 時間でした。(5月3日くもり、ちょこっと雨 河村家、福本家、吉田家、(豊橋より 佐藤 実、芳枝、真実、翼))

## 8. 会よりの連絡事項

8 - 1 4月22日の総会で事務局が、市民センターから離れて一応原田満洲夫が担当する事になりました。

今後の連絡については、配布された電話連絡網とEメールを主体として、封書による連絡はないものとして進める事になりました。又この会報も月2回の参集時にお手渡す事になりましたので出来る限り参加して会報を受領願いたくお伝えします。

8 - 2 広報活動の1貫として専門部会?を作ったらとの意見が有りました。考え方としては、会員相互の勉強会や、来客者の対応等専門部形式を採用して会員全員で盛り立てていくと言う事です

ホームページについては、現在若林さんただ一人ですが、取材や写真班にどなたかとか、又ご案内役で植物の説明がいる団体さんには北村さん、藤村さん、昆虫は、原さん、藤井さん、紙村さん、松原さん、魚 水棲動物には関根さん、林さん 一般的な話(作ったいきさつ、農業との絡み等々)今井会長、原田副会長...これら専門部で来客の対応したり勉強会等...如何でしょうか? 又お名前の挙がっていない方には、どの分野が専門であるとか、やってみたい部門に入って頂いてらどうでしょうか

## 9. 編集後記

3月末の官庁関係の人事異動で里山ビオトープ二俣瀬が一時活動を麻痺いたしました。ボランティア活動と銘打っていたものの、やはり出始めが、官庁指導の元に始まった事も有り、市民センターの塩谷さんや、環境共生課の方々に“おんぶに抱っこ”の部分も有り、本当のボランティアと言えたかどうか、開設以来初めて遭遇したトラブルでした。おかげで雨降って地固まりました。今後は運営資金の問題や、維持に当たって色々な問題が出てくることは、多いと思いますが、今回乗り切った経験を踏み台にしてより良いビオトープになるよう、頑張っていこうでは有りませんか。(原田 満洲夫 記)